

問1 高度経済成長期に、工場から出る煙や排水によって私たちのくらしや健康が守られなくなった問題を何といいますか。

1. 自然災害                      2. 人口減少                      3. 公害                      4. 食料不足

問2 日本の中で、台風の通り道になりやすく、特に大きな影響を受けやすいのはどこですか。

1. 関東地方                      2. 沖縄県                      3. 北海道                      4. 北陸地方

問3 公害病裁判の結果、日本社会にとってどのような大切な変化が起きましたか。

1. 裁判をすること自体が法律で禁止された                      2. すべての工場が自動的に閉鎖されることになった                      3. 企業の環境を守る責任が強く求められるようになった                      4. 工場がすべて海外へ移転することになった

問4 貴重な自然や歴史的な遺産を、世界のみならず協力して守っていくための仕組みを何といいますか。

1. 国立公園                      2. エコミュージアム                      3. 自然保護区                      4. 世界遺産

問5 過去の大きな地震では、建物の倒壊以外にも多くの被害が出ました。東日本大震災のような海に近い場所で起きた地震において、特に大きな被害を引き起こした原因は何ですか。

1. 噴火による火山灰                      2. 長い期間の干ばつ                      3. 激しい雷雨                      4. 巨大な津波

問6 次のうち、日本の「世界自然遺産」に登録されている場所はどれですか。

1. 富士山                      2. 屋久島                      3. 古都京都の文化財                      4. 日光の社寺

問7 地球温暖化をふせぐために、わたしたちの社会で工夫が求められていることは何ですか。

1. 二酸化炭素を出さないような製品を作ること                      2. 自動車のスピードを上げること                      3. 地球の気温を計る回数を減らすこと                      4. 工場の数を今よりも増やすこと

問8 四大公害病の一つである「四日市ぜんそく」は、どのようなことが原因で発生した健康被害でしょうか。

1. 工場の煙に含まれる有害なガスが空気を汚したから                      2. 鉱山から流れ出た有害な金属が土や水を汚したから                      3. 農薬を使わず田んぼの水が近くの川に流れ出たから                      4. 工場から出た有害な液体が川や海を汚したから

問9 貴重な自然を世界遺産として登録する一番の目的は、何のためですか。

1. その場所の自然や価値を世界中で守り続けるため                      2. その場所の土地を国が買い取るため                      3. たくさんの観光客を呼んでお金をもうけるため                      4. 新しい道路や建物をたくさん建てるため

問10 富山県の神通川（じんづうがわ）の近くで発生した、鉱山（こうざん）から出たカドミウムという物質が原因の公害病は何でしょう。

1. 新潟水俣病                      2. イタイイタイ病                      3. 水俣病                      4. 四日市ぜんそく

問11 日本で台風がよく接近したり、上陸したりする時期はいつごろですか。

1. 春から夏                      2. 冬から春                      3. 夏から秋                      4. 秋から冬

問12 ラムサール条約は、どのような場所を大切に守っていくための約束事ですか。

1. 古い建物や歴史的な町並み                      2. 高い山々や森林                      3. 魚がたくさんとれる遠い海                      4. たくさんの水鳥が集まる湿地

問13 ナショナルトラストという活動において、最も大切とされている考え方はどれですか。

1. 市民が協力して大切な自然を買い取り、未来へ残す                      2. 土地を売って、新しい建物をつくる                      3. 政府がすべてのお金を出して保護する                      4. 開発をすすめて、土地の価値を高くする

問14 貴重な自然や歴史的な建物が開発によって壊されないように、市民がお金を出し合ってその土地を買い取り、守っていく活動を何といいますか。

1. 植樹活動                      2. リサイクル運動                      3. ボランティア清掃                      4. ナショナルトラスト

問15 熊本県や鹿児島県の沿岸で発生した、工場から海に流された有機水銀が原因の公害病は何でしょう。

1. イタイイタイ病                      2. 四日市ぜんそく                      3. 水俣病                      4. 新潟水俣病

問16 ラムサール条約で湿地を保護することには、どのような意味があると考えられますか。

1. 水鳥だけでなく、そこに住むたくさんの生き物の命を守るため                      2. 世界中の歴史的な建造物を新しく建て直すため                      3. 湿地をすべて埋め立てて、新しい工場や道路を作るため                      4. 特定の国だけで利益を分け合う仕組みを作るため

問17 沖縄県で、古くから台風の強い風にそなえるための家屋の工夫として考えられるのはどれですか。

1. 雪をおろしやすい急な屋根にする                      2. 高い位置に床を高くつくる                      3. 家を密集させて建てない                      4. 石垣やフクギで囲いをつくる

## 答え合わせ・解説 No.1

問1	答え 3 公害	公害は、産業が急激に成長する一方で、環境への対策が十分でなかったために引き起こされました。この被害をきっかけに、国や地域では自然環境を守るための新しい法律や取り組みが本格的に進められるようになりました。
問2	答え 2 沖縄県	沖縄県は、南の海で発生した台風が日本付近に進むときの通り道にあたるため、他の地域に比べて台風の影響を強く受けやすい地域です。
問3	答え 3 企業の環境を守る責任が強く求められるようになった	公害病裁判を通じて、企業が利益を追求するだけでなく、環境や人々の健康を守る「企業の社会的責任」が非常に重要であることが社会全体に認められるようになりました。これにより、環境を守るための新しい法律や決まりが作られるようになりました。
問4	答え 4 世界遺産	世界遺産は、人類全体にとってかけがえのない宝として、国際的に登録され、将来の世代まで大切に守り伝えていくために作られた制度です。これには、自然の価値が高い場所と、歴史的な建物などの文化的な価値がある場所の両方が含まれています。
問5	答え 4 巨大な津波	海の中で大きな地震が起きると、海面が大きく盛り上がり、海岸へ向かって巨大な波（津波）が押し寄せます。東日本大震災では、この津波によって多くの住宅や施設が流され、非常に大きな被害となりました。
問6	答え 2 屋久島	屋久島は、豊かな森や独特な自然環境が評価され、1993年に白神山地とともに日本で初めて世界自然遺産に登録されました。富士山、日光の社寺、古都京都の文化財は、世界文化遺産として登録されています。
問7	答え 1 二酸化炭素を出さないような製品を作ること	地球温暖化の主な原因である二酸化炭素を減らすためには、エネルギーをむだに使わない技術や、環境にやさしい製品づくりがとても大切です。地球全体で二酸化炭素の排出量を抑える努力が求められています。
問8	答え 1 工場の煙に含まれる有害なガスが空気を汚したから	四日市ぜんそくは、三重県四日市市の石油化学コンビナート（工場が集まった地域）から出た煙（亜硫酸ガスなどの有害な物質）による大気汚染が原因で発生しました。この汚れた空気を吸い込んだ周辺の住民に、激しいせきやぜんそくなどの呼吸器の病気が起こりました。他の選択肢は、水俣病やイタイイタイ病などの異なる公害の原因です。
問9	答え 1 その場所の自然や価値を世界中で守り続けるため	世界遺産に登録されることで、その場所が世界的に価値のある場所だと認められます。単に有名にするだけでなく、国や地域が協力し、自然環境を壊さずに未来へ残していく仕組みを整えることが、もっとも大切な目的です。
問10	答え 2 イタイイタイ病	富山県の神通川流域で発生したこの病気は、鉱山から川に流れ出たカドミウムが米や水を通じて体にたまり、骨がもろくなって激しい痛みを感じるようになったことからこの名前がつけました。工場の排水や鉱山の廃棄物が環境に与えた大きな影響を示す、四大公害病の一つです。
問11	答え 3 夏から秋	台風は、海水の温度が高くなる夏から秋にかけて発生しやすいため、日本列島にもこの時期に多くの台風が近づいたり上陸したりします。
問12	答え 4 たくさんの水鳥が集まる湿地	ラムサール条約は、水鳥が生きていくために欠かせない湿地を守り、その環境を次世代へ引き継ぐことを目的とした国際的な約束です。世界中の国々が協力して、貴重な自然環境を保護しています。
問13	答え 1 市民が協力して大切な自然を買い取り、未来へ残す	この活動は、特定の土地や建物を守るために市民が寄付を集めるという点が重要です。国まかせにするのではなく、市民自身の力で貴重な自然や景観を開発から守り、次の世代へ伝えていくことが目的だからです。
問14	答え 4 ナショナルトラスト	市民が自発的に寄付を集め、開発から土地や建物を買って守る活動のことです。国や行政による保護だけでなく、一人ひとりが環境保護の主体となって取り組むことに大きな特徴があります。
問15	答え 3 水俣病	熊本県の水俣湾周辺などで発生した病気です。工場から海に流された有害な水銀を魚や貝が食べ、それを人間が食べたことで体の中に毒がたまりました。この悲しい経験から、現在は工場の排水をきれいに処理する仕組みなどが厳しく定められるようになりました。
問16	答え 1 水鳥だけでなく、そこに住むたくさんの生き物の命を守るため	湿地は水鳥のすみかであるだけでなく、多くの動植物が命を育む場所であり、自然の浄化作用も持っています。この条約は、単に鳥を守るだけでなく、湿地全体の豊かな生態系を維持し、地球環境を守ることを目指しています。
問17	答え 4 石垣やフクギで囲いをつくる	台風の通り道にある沖縄では、強い風から家を守るために、家のまわりに石垣を積んだり、フクギという木を植えて防風林にしたりする工夫が伝統的に行われてきました。